

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島市立新安佐市民病院(仮称)	階数	地下1階/地上5階
建設地	広島市安佐北区亀山南一丁目	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、防火指定なし	平均居住人員	2,200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2019年2月18日
敷地面積	23,729 m ²	作成者	内藤・シマ設計JV、日本ファシリティ・ソリューション
建築面積	14,885 m ²	確認日	2019年2月22日
延床面積	52,160 m ²	確認者	内藤・シマ設計JV、日本ファシリティ・ソリューション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (276 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 54% (149 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 66% (182 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 66% (182 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 4.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.8

音環境	2.6
温熱環境	4.1
光・視環境	3.7
空気質環境	4.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 4.3

機能性	4.3
耐用性	4.7
対応性	4.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.1

生物環境	3.0
まちなみ	5.0
地域性	4.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.7

建物外皮の	4.7
自然エネ	4.0
設備システ	5.0
効率的	4.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.9

水資源	3.8
非再生材料の	4.0
汚染物質	3.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	4.3
地域環境	3.1
周辺環境	3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 4.2

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿化対策」の推進
スコア = 4.4	スコア = 3.1	スコア = 4.5
設計の計画上特段に配慮した事項 庇及び複層ガラスの採用により高い外皮性能を確保 / 光集光装置の採用、トップライトの採用、ナイトパーズの採用、井水利用による水冷チャラーの採用 / 設備システムの高効率化によりエネルギー使用量の削減を図っている / エネルギーサービス事業を導入することにより、効率的な運用を行う / 節水型器具の採用、屋上緑化用灌水に雨水を利用している。また、リサイクル材を採用し、省資源に配慮している。 / 設備システムの高効率化や自然エネルギーの活用により、ライフサイクルCO ₂ 排出量の削減に配慮している。	設計の計画上特段に配慮した事項 太田川河川環境情報図をもとに自生種の保全に配慮している。外構緑化、屋上緑化により緑の量の確保に努めている。 / 適切な駐車・駐輪スペースの確保、車両導入路を用途毎に分離しており周辺道路の渋滞緩和に寄与している。	設計の計画上特段に配慮した事項 免震構造及び高い耐震性を有する耐震構造の採用。内外装や設備配管・配線等に更新必要間隔の長い材料を採用。 / 更新のために必要なスペースを確保。構造部材や仕上げ材を痛めることなく更新・修繕が可能な計画としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される